



公務員対策ガイダンス

2021年度

2022年1月【★WEB配信(Zoom)★】



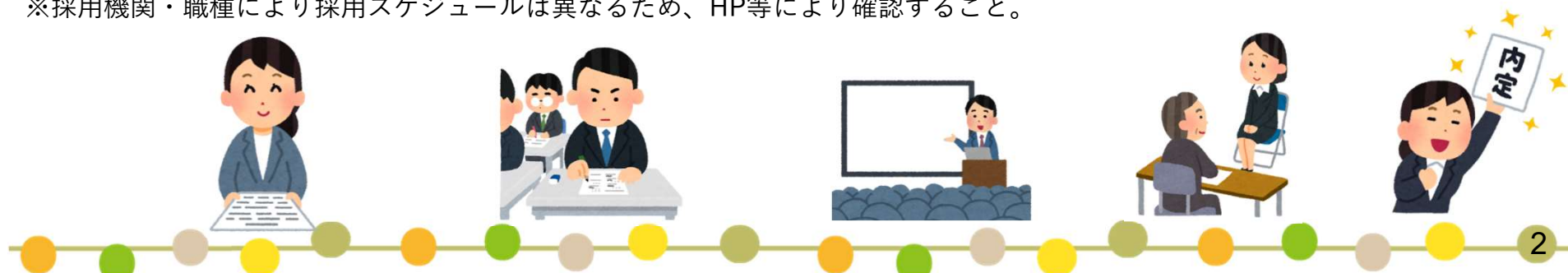
主催：麻布大学キャリア・就職支援課
提携：LEC東京リーガルマインド

①公務員採用試験について（試験の流れ・時期） 1

出願 (受験申込)		一次試験	一次合格 発表	二次試験 (面接等)	合格 発表
国家 公務員 (一般職)	4月 上旬～中旬	6月中旬 ・基礎能力試験（多肢選択式） ・専門試験（多肢選択式） 【行政】一般論文試験 【技術】専門試験（記述式）	7月 上旬	官庁訪問 7月上旬～	8月 下旬
			官庁合同 説明会 官庁業務 説明会	7月中旬～8月初旬の 指定する日 ・人物試験（個別面接） ※いわゆる 人事院面接	
地方 公務員	3月下旬 ～5月下旬	5月上旬～6月下旬 ・教養試験（択一式） ・専門試験（択一式）	7月 上旬	・論文試験 ・面接試験 ・適正検査	10月 採用内定

※上記日程は、2021年度の主な採用スケジュールである。（※2020年度は新型コロナウイルスの影響により、大幅に変更。）

※採用機関・職種により採用スケジュールは異なるため、HP等により確認すること。



①公務員採用試験について（区分）

国家公務員

「国の機関に勤務する職員」。主に官庁に勤務する国家総合職・国家一般職がある。

<試験区分>

- ・「国家総合職」→「院卒者試験」「大卒程度試験」
- ・「国家一般職」→「大卒程度試験」「高卒者試験」
- ・「国家専門職」→「大卒技術職試験」「高卒者技術職試験」

地方公務員

「地方自治体に勤務する職員」。北海道から沖縄までの47都道府県の職員や市役所職員がある。

<試験区分>

- ・「上級（大卒）・中級（短大卒）・初級（高校卒）」
- ・東京都Ⅰ類、特別区Ⅰ類 →「院卒者試験」「大卒程度試験」「高卒者試験」
- ・政令指定都市 →「大卒程度試験」「高卒者試験」
- ・市役所 →「大卒程度試験」「高卒者試験」

※学歴によって採用試験区分が設けられているが、受験要件ではない。

地方上級や市役所では学歴を受験要件とするところもあるため、個別確認が必要。

※国家公務員採用ナビ・東京都採用ページ・特別区採用ページ・各自治体のHPなどで、本年度の募集要項や過去問などがアップされているので、確認すること。



①公務員採用試験について（試験の流れ・時期） 2

出願（受験申込）

- ・受験する自治体等のホームページに掲載。出願要綱に従い出願。

一次試験（筆記試験）

- ・「教養」「専門」「教養記述（論文）」の3つを実施。
- ・回答形式（「教養」「専門」）：マークシート式・択一式（5肢から選択）。
※専門試験で記述式試験（論文試験）が課されるところもある。
- ・教養試験＋論文のみ（専門試験なし）の主な職種は、国立大学法人・一部の市役所試験・警察官・消防官。



二次試験（面接等）

- ・一次試験の合格者を対象に実施。近年は「人物重視」の傾向がどの職種でも強まっており、この面接段階での競争倍率もかなり高くなっている。
※国家総合職・国家一般職には「官庁訪問」という独特の面接・採用システムがある。

<採用予定者候補名簿登載> ※国家公務員の場合

<官庁訪問> ※国家公務員の場合

- ・国家公務員試験では、自分が希望する省庁や機関に出向いて採用面接を受ける必要がある。これを「官庁訪問」といい、国家総合職試験では最終合格発表後、国家一般職試験では一次試験合格後に行われる。

最終合格

- ・「採用候補者名簿」に名前が記載される。採用者側はこの名簿に基づいて意向調査を行い、内定を出す。
- ・内定が決まると、採用日までは自由に過ごせる。（数回、面談・顔合わせ等がある場合もある。）

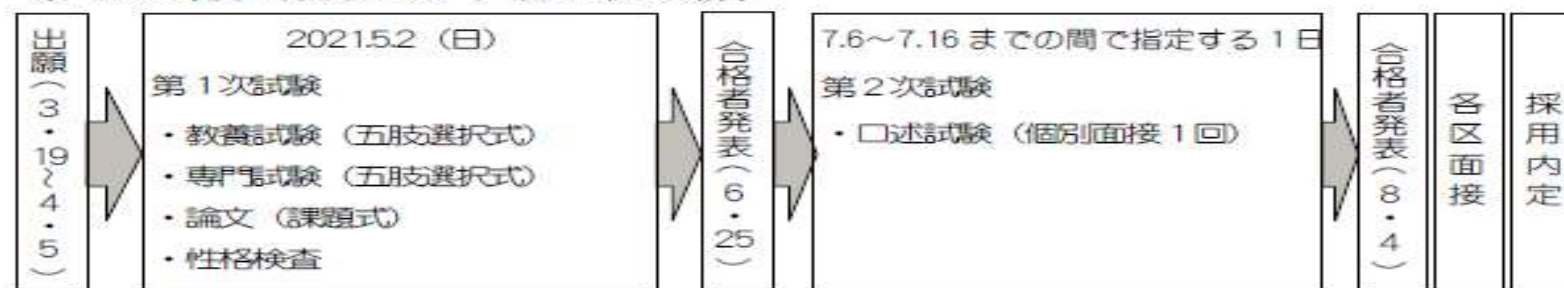
①公務員採用試験について（試験の流れ・時期） 3

◎ 2021年度 国家一般職（大卒程度）の場合



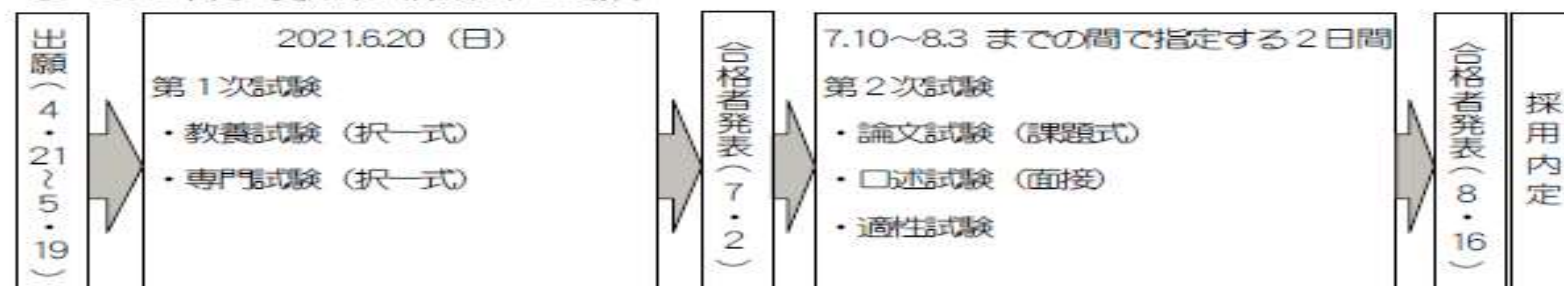
第1次試験合格者は「教養試験」と「専門試験（多肢選択式）」の成績を総合して決定される。「専門試験（記述式）」の成績は、第1次試験合格者を対象に評定した上で、最終合格者決定に当たり、他の試験種目の成績と総合される。

◎ 2021年度 特別区I類（一般方式）の場合



※土木建築 建築 機械 電気の場合の合格者発表は7・27

◎ 2021年度 愛知県〈行政I〉の場合



①公務員採用試験について（種類・内容）

■ほぼすべての公務員試験は教養試験（論文含む）＋専門試験 で構成。

■市役所試験では教養試験のみという地域も多い。

（関東地方が該当、ただし千葉県は全域で専門試験実施、専門職は専門試験ほぼ実施）

教養試験 ▶ 択一式（マーク式）

- ・ 知能分野（数的処理、文章理解） → 出題数が多く最重要科目（演習系科目）
- ・ 知識分野（社会科学、人文科学、自然科学） → 得点源として重要（暗記系科目）

専門試験 ▶ 択一式（マーク式）、記述式

- ・ 行政職（事務職）…法律系科目（憲法 / 民法 / 行政法 / 刑法 / 労働法 など）
経済系科目（経済原論/財政学/経済事情/経営学/経済史 / 会計学 など）
行政系科目（政治学 / 行政学 / 社会学 / 国際関係 / 社会政策など）
- ・ 技術職（専門職）…個別専門科目（獣医、畜産、衛生監視員、臨床検査技師）

論文試験 ▶（教養記述式試験）

- ・ 一般的な小論文をイメージすればよいが、公務員特有の論点が出題される。
※ 「少子化対策」「地方分権」「市町村合併」といった、社会の問題など。

面接試験 ▶（人物試験） ※一次の筆記試験合格者が対象

- ・ 近年、試験において面接重視の比重が高まり、集団面接、集団討論も課されることもある。
※ 「志望動機」「学生時代に力を入れたこと」など。

①公務員採用試験について（技術系・その他）

麻布大学から受験者が多い職種の直前期の対策

1. 獣医・畜産・臨床検査技師・衛生監視等

- ・ 受験者が共通している（別学部からの受験が困難）ので、他の受験生が苦手とする部分で得点をするのがポイント。

<共通する点>

- ・ 教養試験（特に数的処理）でしっかり差をつける。できれば人文科学や文章理解（英語）もしっかり対策をしておきたい。
- ・ 他の職種と統合して募集される場合には「総論系科目」に注意。
→ 農学職における基礎部分や統計部分等

2. 一般行政職、警察・消防等

- ・ 行政職は今から面接対策をしておくこと＝エピソードを色々な分野に対応できるようにしておくことが併願時のポイント。
- ・ 警察、消防関係受験者は、論作文の基礎を改めて固めておくこと。

② 公務員試験対策 1

学習プラン（モデルケース）

[8月]
学習スタート

[8月－10月]
知識の習得
（テキスト）

[10月－12月]
実践力（解答力）の養成
（問題演習）

[1月－3月]
総復習

[3月－4月]
直前対策
時事・面接・論文

【学習ポイント】

- ・ 早期スタートにより基礎学力を完成。→ 実践力（解答力）の養成につなげる。

教養科目

- ・ 数的処理・社会科学・文章理解を攻略し合格に必要な基礎力をつける。
- ・ 更に人文科学・自然科学系の科目を追加し得点力をアップさせていく。

専門科目

- ・ 大学で学んだ専門知識を試験用に整えて実践力（解答力）をつけていく。
＊ 多くの演習問題を繰り返し解いて実力をつけていく。

論 文

- ・ 行政課題とそれに対する政策を理解し、自分なりの考えを持つ。
＊ 日ごろから志望自治体などの取組を自分で調べる。（自治体研究）

面 接

- ・ 志望理由、自分自身の強みはなにか（自己PR）を考え、面接官に伝えられるように言語化する。（面接においても自治体研究が重要である。）

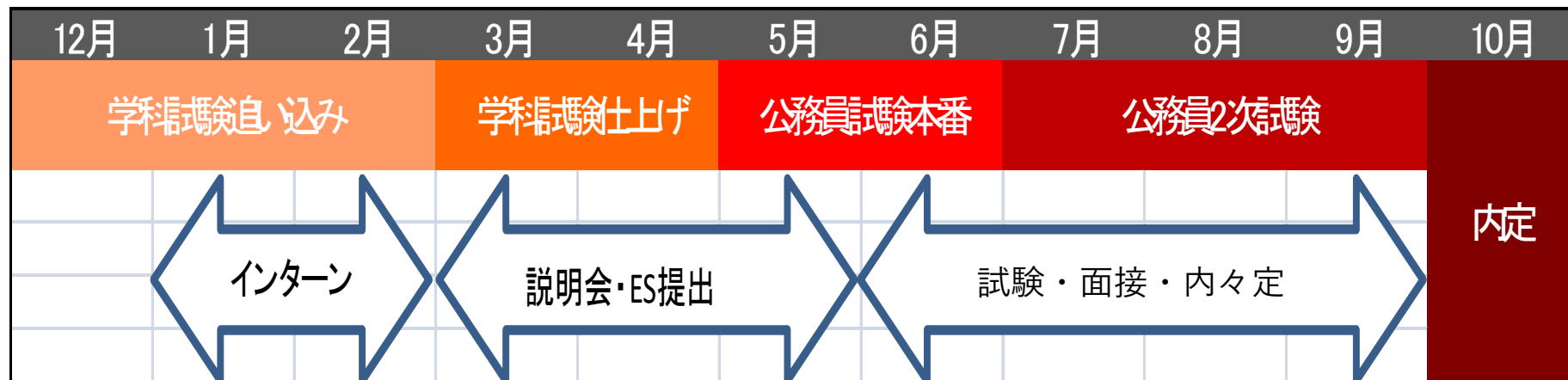


② 公務員試験対策 2

併願について①

【公務員試験の種類別の併願について】

- 公務員一次試験の実施日が違っていれば併願受験は可能。
- 試験の出題科目が重なっている試験種は学習負担が少なく効率的。
- 技術職などの専門職は専門知識に関する出題中心となるため有利。
- 国立大学法人職員・一部の市役所試験では専門試験がなく学習負担は少ない。
- 「どの職種でどのような科目が出題されているのか」を把握し併願を検討する。



② 公務員試験対策 3

併願について②

【民間との併願について】

- 公務員専願でいくか、民間併願とするかは学習進捗次第。
- 模擬試験の判定結果で検討。
 - ・ A、B 判定 → 公務員専願、C、D 判定 → 一般併願、E 判定 → 民間主体の併願

【公務員専願の場合】

- **専門科目を重視**する(受験先についても)。
- 公務員**受験の数をできるだけ多く**する(国家総合職や立法府職員も対象に)
- 試験難易度は、県庁＞市役所
- 東京関係の難易度も、都庁＞特別区
- 技術系・心理福祉の場合も同様に考える

② 公務員試験対策 4

併願について③

【一般併願の場合】

- 民間・公務員とも**受験先を絞ること**。
- 民間に力を注げる時間を作るために、**今の時期にフルスパート**する心構えで。
- 教養のみの試験や新方式で実施される試験も視野に。

【民間主体の併願の場合】

- **新方式**や**面接重視の自治体**を重視しよう。
- 都庁 I B新方式、神奈川秋季、横浜市等学科は教養試験のみのところも。
- 市役所では、**SPI**や**SCOA**を実施する自治体も多い。
- **通常の市役所試験にも新方式**で実施するところもある。

③ 公務員情報 1 (2021年度本試験分析)

全体的傾向

【コロナ2年目となったが試験は例年に戻りつつある】

- 2020年は試験が延期になるなど大きな影響が出たが、2021年は難易度、倍率等も例年に戻りつつある。
- 2020年に厳しめとなった地方上級（県庁・政令市）も通常に戻った。
- 面接試験・論文試験が厳し目になってきている。
- ※受験生全体が面接や論文をしっかりと対策するようになり、中途半端では対応しきれない。
- 自治体によっては、「オワハラ」ともとれるような対応もみられた。

2021年を象徴する事例

【以下の試験は例年とはかなり異なる状態となった】

- 東京都I類＝採用予定数が大幅に減少した（事務系で300人規模から80人に）。
- 都内の市役所では、2020年・2021年とも一次試験は会場実施がほとんどなく、Webによる自宅実施が主流となった。
- ※他地域ではそれほど極端に会場実施を避けることはなかった。
- 集団討論やグループワークはほとんどの試験で実施されなかった。

③公務員情報 2 (2022年度 本試験見通し)

全体的傾向

【競争はかなり厳しくなると想定される】

- コロナ以前は、アベノミクス効果もあり、社会人で民間から公務員への転職は少なかったのだが、来年はかなり増えると思定される。
- 学生の間でも 民間志望者が公務員志望に進路変更する例が見えてきている。
 - ・ いずれもLEC各校舎で問い合わせや相談が増えている。
- かつてのバブル崩壊期、リーマンショック後と似たような状況になりつつある。
 - ・ これらの時期には現役学生は苦戦を強いられた。

注意すべき点

【2022年受験で特に注意しておきたい事柄】

- 東京都特別区では、出願時に新たにESが課されることになった。
 - ・ これまでの面接カードに類するものを出願時に準備しなければならない。
- オンライン説明会や案内動画が一般的になっているので、それらを通じた情報入手に積極的になっておこう。
- ウィズ・コロナ状況で 集団討論やグループワークが復活すると想定されるので学科だけでなく全般的な対策が必要になると想定される。